



2022年 5月

第323号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 山本 英次
副会長 茂木 稔
書記 花輪 宗命
会計 小口 多津子
直前会長 花輪 宗命
担当主事 菅野 牧夫
プリテン 茂木 稔 山本 英次
大久保 重子

国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題「世界とともにワイズメン」
スローガン「愛と尊敬で世界を癒そう」
アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート) 主題:「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一」
東日本区理事 大久保 知宏(宇都宮) 主題:「私たちは次の世代のために何が出来るか」 スローガン「絆を深める時」
あずさ部部长 長谷川 あや子(八王子)
主題:「道を拓く〜愛と協力によって」
クラブ会長 山本 英次 主題:「コロナ禍を乗り越えて、新時代のクラブへ」

5月 例会プログラム

日時: 5月28日(土曜日) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階大会議室

(担当: B班 花輪、望月、並木真、久保田)

受付: 花輪

司会: 久保田

- ・開会点鐘 茂木
- ・ワイズソング 一同
- ・ワイズの信条 一同
- ・ゲスト・ビジター紹介 茂木
- ・卓話「多文化共生社会の実現をめざして」
卓話者 八王子市多文化共生推進課
主査 萩野様
- ・聖書購読・食前感謝 並木真
- ・会食
- ・YMCA 報告 担当主事 菅野
- ・報告と連絡事項 会長・各担当
- ・スマイル 望月
- ・ハッピーバースディ
- ・閉会点鐘 茂木

新しいスポーツ タグラグビーを応援しています!

並木 真

皆さんは、「タグラグビー」って知っていますか。
ラグビーは知ってるけど・・・という方がほとんどだと思います。私は、子どもの通う小学校で「タグラグビー」に出会いました。「タグラグビー」は、身体の接触がない、安全なラグビーです。

1990年代にイギリスではじまりました。日本には1996年くらい紹介された、新しいスポーツです。基本的なルールはラグビーと一緒に「ボールを前に投げない」(反則: スローフォワード)、「ボールを前に落とさない」(反則: ノックオン)など。違うのは、タックルは禁止でボールキャリアを止めるためには、腰に巻いてあるマジックテープに

先月の例会ポイント (4月)

在籍	12名	切手(国内・海外)	0g
メン	11名	累計	0g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	92%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	10,000円
ゲスト	0名	累計	76,009円
ビジター	0名	オークション	0円
ひつじぐも	0名	累計	0円

今月の聖句(2022年5月)

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな恵みがあるのか。罪人でも、愛してくれる人を愛している。

(新約聖書-ルカによる福音書 6:31-32)

張り付いている「タグ」を「タグ！」というコールとともに取ります。「タグ」を取られたボールキャリアは、すぐに止まって、パスをしなければなりません。

すぐに止まらないと「オーバーステップ」という反則を取られます。攻撃は、4回「タグ」を取られるまでに、ゴールラインにボールを運び「トライ」をします。

ゲームは、5名の選手が出て前後半7分ずつで行います。安全なので、タグラグビーは男の子も女の子も、老いも若きも、みんなで楽しめるスポーツです。

私は今、子どもが所属していたタグラグビーチームのお手伝いをしています。それは、「タグラグビー」が今の時代に必要な魅力的なスポーツで、これからも地域スポーツとして続いて欲しいと思っていますからです。

「ラグビー」は、ボールを持っている人の前には味方がいません。なので、後ろにいる味方の「声」がとても重要です。タグラグビーも同様です。攻撃の展開も早いので、攻守ともに「声かけ」が大切な「コミュニケーション」スポーツなのです。

老若男女楽しめるこの「コミュニケーションスポーツ」は、YMCAに合ってるスポーツだなと感じています。ワイズメンズクラブでも、地域の大会をサポートし「ワイズ杯」が出来ないかと考えています。



腰に付けている布がタグとなります。

他のクラブのブリテンを見て気付くこと

茂木 稔

ブリテン担当者として他クラブのブリテンがワイズニュースに出ると、個別のクラブのブリテンを良くデスクトップ パソコンで見えています。

最近気付いたことは写真が多く入ったページ数が多いものが見られることです。これは多分例会や行事がZoomで行われることが多く、その報告や個人の原稿が少なくそれをカバーする目的と見えます。

また、ブリテンの奇数ページの発行が多くなったとい

う事です。極端な例ですがA4で2ページだけの物さえ見られます。用紙1枚のブリテンです。

これらは、やはり会員数が10名以下の所が多い様です。多いのが3ページのもので、本来は4ページにしてA4を2枚で印刷したいのかもしれませんが、それまでは原稿が集まらないからでしょう。

この様に奇数ページのものではパソコンで見られることを意識しており、印刷した時には最後の1ページが白紙になってしまいます。

編集者としてこれは避けたいところです。我がクラブでも最近多いので大変気になっているものです。

また、個別のブリテンの内容を見ていると、大変優れた編集をしているのが東京西クラブのもので、このクラブで毎月主催しているWHO（ウォーキング・ホリデー・オギクボ）の参加者と内容が優れ記事と内容が優れたものになっています。吉田さんの編集も優れています。

最近私が残念に思っていることは画像を印刷すると4本の縦の白線が入ってしまうのです。何度もプリンターヘッドのクリーニングをしているのですが、写真画像となるとおかしくなってしまいます。

従来ですとブラザーの銀座のショールームまで行って、そこで説明員に指導してもらい、自宅に帰って何とか直すことが有ったのですが、今は銀座まで出かけて行く気力が有りません。

ブラザーのサポートセンターの相談窓口で電話をして電話で指導してもらおう方法も有りますが、電話するといつもお話し中で30分近く有料電話をしないと繋がらないのです。殆どはしびれを切らして途中で15~20分で切ってしまうことが多くなりました。別の方法はブラザーの三重県亀山市の工場に機械を送り直してもらうことです。

しかし、この場合は修理費だけで24,500円も払い、送料も自分持ちです。昨年一度これを利用しましたが、これはヨドバシの割引ポイントを利用して無料で済みましたが、一回のみの利用で次からは有料代金なのです。

その様な訳で今回はまだ修正出来ていないのですがお許し下さい。近日中に何とか直したいと思っています。長い間ブリテンの印刷を担当してきましたが、プリンターの不調は必ず起こります。

今までの機種も必ず修理をしています。機械の修理が無くなったらどんなに安心出来るでしょうか。

そんな夢を当事者は描いています。

YMCA 便り

菅野牧夫

連日ウクライナの悲惨な状況が報告されています。早く平和が戻ることを祈っています。

- ◇ 3月1～9日、東陽町コミュニティーセンターでは、第7回平和展として「東京大空襲体験絵画展」を開催した。
 - ◇ 4月1日、「職員就業礼拝」をはじめオンライン(ZOOM)で開催した。古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会/公益財団法人東京YMCA評議員会会長)に説教をいただいた。「全体職員会」では、3法人の代表者から挨拶と新年度運営方針、新入職員代表者から抱負が語られた。
 - ◇ 各学校の入学式が下記の通り開催された。
 - ・ 社会体育・保育専門学校 4月1日
 - ・ 国際ホテル専門学校 4月5日
 - ・ 医療福祉専門学校 4月7日
 - ・ 高等学院(通信制高校) 4月9日
 - ◇ 4月14日に「第31回チャリティーゴルフ大会」開催された。益金約400,000円は、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンド、不登校の子ども支援、災害復興支援に用いる。チャリティーゴルフ実行委員会が準備と運営を担い、多くの企業や個人から協賛をいただいた。
 - ◇ 「オープンスペースliby」は、4月1日より、杉並区西荻北から、東京YMCA南コミュニティーセンター(世田谷区宮坂)内に移転した。
 - ◇ 西東京コミュニティーセンターで行っていた放課後等デイサービス「PIT国立」、及び知的障がい者支援活動「あおぞら・つばさの会」、「シャベルズ・いづみの会」は、2022年3月をもって活動を終了した。
- 西東京コミュニティーセンター及び西東京地域における今後の展開については、会員や関係者等と意見交換しながら検討を進めていく。

中大ひつじぐも便り

中大ひつじぐも 石原島遼

こんにちは。ひつじぐもで副委員長兼会計を務めております、石原島遼です。私は4/23にみさわ児童館にて行われた陶芸教室ボランティアに参加しました。

児童は幼稚園の子から小学6年生までと幅のある5人で、指導係の方4名と僕を含めた本校ボランティア2名で実施しました。活動としては、制作に関するアドバイスと見守り(技術的なことはほとんど言いませんでした)、児童とおしゃべり(兄弟のことだったり好きな事だったり色々)、実施後の後片付けを行いました。

児童、指導係の方と非常に和やかな雰囲気を共有できたため、参加してよかったと思いました。陶芸自体も本当に楽しんでくれて、「来週来ないのー?」と言ってもらえるくらい仲良くもなれました。また、児童館は有志でいらしている方が多いそうなので、大人の方と話す機会が欲しいという人にもいいと思います。

内容が変わりますが、ここからは委員長の関口遼がペンを走らせていきます。さて4月は新歓ということで今年は大学内でブースを設け、対面で新歓を行うことができました。私たちはもう3年生になりましたが、当時1年生だったころはコロナ直撃だったので新歓はありませんでした。渡辺先輩からも前線を退いたので、新歓をされたことのある代がない中での新歓活動は不安も大きかったです。いざブースで声を出していると、ボランティアに興味のある子がたくさん来てくれて、私たちの作った拙いチラシやビラを持ち帰ってくれました。

Zoomでもレクなどを行い新歓活動に汗を流しました。その結果、現状では約20名の新入部員が集まりました。まだ募集中なので今後も頑張ります。

今月の聖句によせて (2022年5月)

今月の聖句、ルカによる福音書6章の31節、「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」は、ボランティアを語るときによく引き合いにだされる聖句ですが、また、他人に対する接し方で、欧米人と日本人の異なる点を指摘するときにも、よく引き合いに出されます。日本人の振る舞い方の基本には、「自分にしてもらいたくないことは、人にもしてはならない」、という、儒教的な教えの影響があるのではないかと、いわれます。(日本の入管行政の考え方の基本にもこれがある、と私には思えます。)

他人に干渉してはいけない、また、他人に迷惑をかけてはいけない、という考え方。これに対して、欧米人は、先の聖句に示されているように、「してはならない」ではなく、「しなさい」を指針として、相手の望むことを考えようとするように思えます。人をボランティアの働きに導くのは、これが背景にあります。しかし、このことは、どちらが良く、どちらが悪といった単純な切り分け方のできるのではなく、基本的には、双方のバランスが大切なのでしょう。

今、私たちは、ウクライナの人々にもたらされている悲惨な状況を、日々知らされています。この中で、砲弾飛び交う戦禍をかくぐって、被災者の救難、支援に取り組むボランティアや医療従事者の姿をテレビの画面でみるにつけ、今、この方々は、「しなさい」につき動かされて、「そこにいて」、「それをするのか」、と心ふるわせている方は多くいらっしゃるでしょう。

並木 信一

《 報告 》

2022年4月第二例会

日時：2022年4月23日（土）18:00～20:00

出席者（敬称略；順不同）：山本、茂木、並木（信）、並木（真）小口、長谷川、大久保、望月、菅野、久保田、花輪
報告・検討事項：

① 第三回あずさ部善光寺御開帳評議会について：

長谷川あや子あずさ部長

2022年5月14日（土）13:00～20:00

長野クラブがホストして開催する。

八王子クラブからの参加（予定）者：長谷川あや子部長、久保田貞視書記、並木信一会計、山本英次クラブ会長、小口多津子クラブ会計、花輪宗命次期会長

② 八王子クラブが支援する「小学生タグラグビー・リーグ応援事業（仮称）」について：

並木真ワイズが、どのような形で、どのような規模と内容の支援をするのが適切かについて、指導者や保護関係者等の意見を聴取し、当クラブの会員が、他クラブの類似事例などを調査・分析し、その報告を受けて、八王子クラブの新規事業の概要を皆で話しあって決めることとする。

③ 次年度のCS活動について：

問題提起；小口多津子次年度CS委員長

コロナ禍で3年間中止にせざるを得なかったコンサートを次年度は実施。日程、出演者の依頼、会場の契約など、過去21回分のデータをもとに話し合い、以前、仲田さんが仲介して下さった「風の仲間」を紹介して頂く。

「第25回東日本区大会実行委員会ではズームによる開催を決定しました。

参加費を無料とし、ウクライナやミャンマーの人々の平和と安全を祈り、献金に向けられればという願いも込めて決断しました。

第25回東日本区大会は6月4日午後1時から午後5時まで、及び翌6月5日（日）の午前9時から12:30までZoomにて開催されます。詳しいプログラムは下記の通り

時間 分 内容

6月4日

1300-1420 80 開会式、祝辞、挨拶、メモリアル・アワー

1430-1530 60 東日本区アワー1 理事報告、部長報告など

1545-1700 75 ウクライナ情勢とワイズ・YMCA ができること

6月5日

0830-0900 30 礼拝

0910-0940 30 YMCA ユースリーダーと共に

945-1115 90 東日本区アワー2 25周年企画、事業報告、表彰

1120-1200 40 新旧役員引継ぎ式

1200-1220 20 閉会式

申し込み受け付けは行いません。

下記のアドレスでご参加ください。

<https://us06web.zoom.us/j/87350795778?pwd=TORDbDM5amxWV1N2OUE4NlZPeVdwdz09>

ミーティング ID: 873 5079 5778 パスコード: 75485

5月のお誕生日

望月隆珉さん 5月7日

高尾わくわくビレッジ便り

館長 菅野牧夫

先日はわくわくビレッジのワイズガーデン草取りにご協力いただきありがとうございました。ガーデンも落ち着いて緑が強くなってきました。わくわくビレッジの裏山も若葉が茂りはじめ、鮮やかな色合いを増しています。先日プログラムで使っているピザ窯の中に、鳥が巣を作り卵が産まれました。こんなところに巣を作るのかと、自然の生命力にびっくりしています。今のところピザを作るプログラムの予定が入ってないので、しばらくはこのままにして巣立ちまで見守りたいところですが、予約が入ってしまったら、どうやって移動させればいいのか今から心配しています。

新年度を迎えてから早いもので1ヶ月が過ぎようとしています。お客様のコロナウイルスの恐怖心も和らいできたのか、4月のわくわくビレッジの宿泊予約は久しぶりに1600名を超えてきました。昨年度が350名強、おととしは休館でしたので大きく変化しました。まだまだ最盛期と比べますと半分強程度ですが、学校教育団体の利用が戻ってきている印象です。たくさんのお客様が楽しい体験を続けていけることを願っています。

わくわくビレッジでは今年度より新卒1年目のプログラムスタッフを採用しました。昨年末に2名の異動がありましたので採用を決めました。本人よりご挨拶をさせていただきます。今後よろしくお願ひします。

若井悠貴

本年度から高尾の森わくわくビレッジのプログラムスタッフになりました。

昨年度まで大学生として時間にゆとりのある生活を謳歌させてもができていません。改めて社会人の偉大さをひしひしと感じています。社会人1年目で多岐にわたる業務内容を覚えることに四苦八苦していますが、施設を利用される方や、業務で関わる方々に信頼していただけるスタッフを目指します。宜しくお願ひします。



ビレッジ5月の野鳥の鳥の巣